

人間らしく働き
健康で平和な社会を

STOP THE! 働かすぎ!

働き方を見直す 京都集会



2023年7月8日(土)

10:00~16:30 (受付9:30~
2階ホール前)

場所 ラボール京都

京都労働者総合会館 四条通御前西入る北側すぐ TEL.075-801-5311

参加費無料 ZOOMあり

プログラム

講演(10:00~12:30)

分科会(13:30~16:30)

- ①しない! させない! ハラスメント
- ②労働時間管理ができないダメ社会とは
- ③働くものの安全と衛生を守る活動を
学び、交流する
- ④非正規労働者の処遇改善を進める

財界の労働者戦略に どう立ち向かうか ~労働組合こそ希望~

講師 石川康宏氏(神戸女学院大学名誉教授)

立命館大学2部経済学部、京都大学大学院経済学研究科卒業。
1995年、神戸女学院大学赴任。2022年3月定年退職、4月より
名誉教授。憲法が輝く兵庫県政をつくる会代表幹事、全国革新懇
代表世話人、日本平和委員会代表理事他。兵庫県西宮市在住。



必ずお申し込みください FAXやメール、フォームより受付いたします。

締め切り 7月4日(火)

参加申込

こちらのフォームからの
お申し込みが簡単です



メールの方はQRより
sohyo@labor.or.jp



FAX 075-812-4149

名前	フリガナ	所属団体が あれば記入	参加分科会 記入 (①~④)
ZOOM参加の方は チェックしてください	<input checked="" type="checkbox"/>	電話番号	メールアドレス
		※Zoom参加の場合は必ずメールアドレスの記入を	

人間らしく働き健康で平和な社会を

STOP THE 働きすぎ! 働き方を見直す京都集会



日時 2023年7月8日(土)

10:00~16:30 受付9:30~ 2階ホール前

場所 ラボール京都

四条通御前西入る北側すぐ TEL.075-801-5311

▶駐車場・駐輪場はございません 公共交通機関をご利用ください。

全体会

10:00~12:30

記念講演

財界の労働者戦略に どう立ち向かうか ~労働組合こそ希望~

講師 神戸女学院大学名誉教授
石川康宏氏

著作:『今、「資本論」をともに読む』(共著)、『憲法が生きる市民社会へ』(共著)、『若者よ、マルクスを読もうI・II・III』(共著)、『変革の時代と「資本論」』(共著)、『マルクスの心を聴く旅』(共著)、『戦後70年の日本資本主義』(共著)、『社会の仕組みのかじり方』、『「おこぼれ経済」という神話』、『女子大生のゲンパツ勉強会』(ゼミ著)、『橋下「維新の会」がやりたいこと』、『「ナナムの家」に暮らし、学んで』(共著)など。

基調報告・特別報告
11:45~12:30

1 「基調報告」

2 「運送業の長時間労働問題」(建交労)

3 「裁量労働の問題」(JMITU)

4 「アスベスト裁判」(京建労)

分科会

場所: ラボール京都内で行います 13:30~16:30

1
しない!
させない!
ハラスメント

2021年度個別労働紛争解決制度の施行状況によると労働相談内容で「いじめ・嫌がらせ」は86,034件で10年連続最多。労働施策総合推進法の施行状況では、相談件数は23,366件で前年度比27.2%増となっています。

2022年4月よりパワーハラスメント防止措置が全企業に義務付けされましたが、パワハラで苦しむ労働者は後を絶ちません。分科会では、職場のパワハラ撲滅に向け「労働組合としてのパワハラ対策」を学習し、職場での取組みを交流します。

2
労働時間管理が
できない
ダメ社会とは

多様化する働き方で労働時間管理はあつてないようなもの? 「働き方改革」が提唱されても一向に減らない長時間労働。職種によっては夜勤が必要な職場も。でも、生活のためとはいえ、そんなに働いていて、カラダはココロは大丈夫? 働き続けるためには健康であることが欠かせません。

労働安全衛生総合研究所で働く人々の健康問題について研究されている松元俊先生を講師に、「長時間労働に関わる健康問題」について学び考え、交流します。

3
働くものの
安全と衛生を
守る活動を
学び、交流する

第3分科会では、「コロナ禍における働くものの安全と衛生」について、小泉昭夫京大名誉教授(公益社団法人京都保健会・社会健康医学研究所所長)に講演いただき、学びます。そして、集会参加の労組・団体における「働くものの安全と衛生」を守る“いの健・ローアン”活動の優れた経験と教訓、課題を交流・学びあい、それぞれの労組・団体の今後の活動に生かしていくことをめざします。それぞれの労組・団体からの積極的なご参加を期待しています!

4
非正規労働者の
処遇改善を
進める

非正規雇用の拡大で低賃金労働者を増やし、賃金全体の引下げを進めた結果、日本経済は低迷し、少子化は加速し、社会の分断が進みました。この上、近年の雇用によらない働き方=ギブワークの拡大は重大です。非正規労働者の組織化・対抗する労働運動の構築、また非正規労働者の処遇改善・雇用の安定化・正規化が急務です。

講演・全体報告と少人数グループ討論を組み合わせた参加型の分科会を行います。ともに学び交流しましょう。

主 催 ●STOP! ザ・働きすぎ! ~働き方を見直す京都集会~実行委員会

お問い合わせ ●京都総評 TEL:075-801-2308 FAX:075-812-4149 e-mail:sohyo@labor.or.jp